

第 14 回日韓大学生国際交流セミナー概要

～東アジア共生のための複言語・複文化教育をめざして～

森山新（お茶の水女子大学）

1. 概要

日時 2019年8月8日（木）～9月12日（木）

場所 釜山外国語大学校（大韓民国釜山広域市）

主催 お茶の水女子大学国際教育センター・グローバル文化学環・日本語教育コース

協力 釜山外国語大学校

2004年に第1回が行われ、今回が第12回となる日韓大学生国際交流セミナーは、本学から8名の学生が参加し、韓国の協定校である釜山外国語大学校で実施された。第11回までは同じく協定校である同徳女子大学校との間で、日韓両国間にまたがる諸問題を取り上げ、両国の学生が話し合いを通じ解決をめざすという形で実施されて来た。そして戦後70年、日韓国交回復50周年を迎えた2015年度の第10回セミナーにおいて、両国の学生が戦後70年日韓学生共同宣言を発表、両国が過去を直視し、互いが納得のいく議論の下、真の未来志向の関係を構築するまでに至った。また12月には日韓文化交流基金の助成のもと、35名の学生を連れて韓国の同徳女子大学校、啓明大学校、釜山外国語大学校を訪れ、戦後70年を記念し、4大学合わせて150名近くの学生が集い、国際学生フォーラムを開催、日韓両国の過去（同徳女子大）、現在（啓明大）、そして未来（釜山外大）を語る場を持つことができた。

このような成果のもとで、2016年度は対立から共生へ向けた新たな段階への過渡期として、これまで同様、同徳女子大学校との間で第11回セミナーを実施する一方、同年に協定を締結した釜山外国語大学校が実施する韓国語・韓国文化を学ぶプログラム（韓国語短期研修）と、日本語・日本文化を教えるプログラム（日本語教育実習）とを合体することで、新たな理念のもと、「複言語・複文化プログラム」を構築し、日韓大学生国際交流セミナーは言語・文化を越えたシティズンシップ、国家を越えた国際的なアイデンティティ形成、そしてそれに基づいた東アジアの共生に向け、より高い次元に向かってさらなる一歩を踏み出した。

今回はその第4回目として、7名の学生が本プログラムに参加した。8月8日から26日までの3週間は韓国語研修に参加、韓国語・韓国文化を学ぶとともに、決定した指導教員とのコンタクトを開始し、後半の日本語教育実習に備えた。9月1日から11日まではそれぞれの指導教員のもと、日本語教育実習に参加、日本語と日本文化を教える体験をした。9月4日と6日にはセミナーの集大成として、「第3回日韓学生フォーラム」を開催し、日韓は対立から共生へ向けての議論を行った。

なお、本プログラムは、学部生は「多文化交流実習Ⅰ・Ⅱ」または「日本語教育法演習Ⅰ・Ⅱ」を履修して参加した。4月に参加者を募集し、5月～7月には毎週事前学習を行った。3か月間の事前学習では、本複言語・複文化教育プログラムの理念である「複言語・複文化主義 (plurilingualism, pluriculturalism)」、「インターカルチュラル・シティズンシップ教育 (intercultural citizenship education)」としての外国語教育を学び、その上で釜山外国語大学が採用している「ヨーロッパ言語共通参照枠 (Common European

Framework of Reference for Languages)」や「CAN-DO ステートメント」を紹介、それらに基づいた具体的な教案作成の方法などを学び、実際の教壇実習に臨んだ。

残念ながら東アジアにはヨーロッパのようなともに生きるための地域連合体もなく、それをめざすための教育理念も教育政策もない。特に今年は、徴用工問題、日本の韓国ホワイト国外し、GSOMIA 破棄と、これまでになく日韓関係が対立の様相を呈し、韓国の街には NO JAPAN、NO ABE のキャンペーンが展開していた。そのような中、両国学生たちは、これまでと変わらぬ友好的な姿勢で交流を行い、かつ戦後最悪とも言える日韓関係改善に向け真摯に対話や交流を行った。

釜山外国語大学の協力のもと、本学が歩み始めた本プログラムが、対立の多い日韓、そして東アジアに、和解と共生をもたらす第一歩となれば幸いである。

なお本プログラムは、釜山外国語大学校の多大なるご支援とご協力のほか、日本学生支援機構の短期派遣プログラム、およびお茶の水女子大学奨学金などの支援を受け、学生が派遣されている。また滞在中の学生の安全のため、釜山日本総領事館、ソウル日本大使館の方々のご支援もいただき、8月22日には古村領事を釜山外国語大学校にお迎えし、貴重なお話を拝聴する機会を得た。この場を借りて心から感謝の意を表したい。

2. 日程表

月日（曜日）	複言語プログラム	複文化プログラム
4月12日（金）	説明会・参加者募集	
4月19日（金）	説明会・参加者募集	
5月17日（金）	事前学習（第1章）	
5月31日（金）	事前学習（第2章、実習概要、手続き）	
6月14日（金）	事前学習（第3～4章）	
6月21日（金）	事前学習（第5章、教案の作り方）	
7月5日（金）	事前学習（実践例）	
7月19日（金）	事前学習（実践例）	
8月8日（木）	訪韓・入寮 韓国語研修入学式	歓迎会
8月9日（金）	レベルテスト	キャンパスツアー・交流会
8月10日（土）	韓国語授業開始（～26日）	
8月13日（火）		韓服体験・サムルノリ体験・韓国料理実習
8月14日（水）		韓服体験・サムルノリ体験・韓国料理実習
8月15日（木）		K-POP ダンス・韓国歌謡
8月17日（土）		K-POP ダンス・韓国歌謡
8月19日（月）	韓国人学生とのプロジェクトワーク	
8月20日（火）		文化探訪：慶州国立博物館・大陵苑・瞻星台・大衆音楽博物館・東宮と月池
8月21日（水）		文化探訪：仏国寺・慶州ワールド
8月22日（木）	釜山総領事館古村領事との交流	
8月23日（金）	韓国語試験	
8月26日（月）	韓国語研修終了式	送別会

8月27日(火)	自主学習・指導教員との事前ミーティング(～8月31日)	
9月1日(日)	日本語教育実習開講式	文化体験(甘川文化村)
9月2日(月)	授業見学開始	
9月4日(水)	第3回日韓学生フォーラム	
9月5日(木)	教壇実習開始(～11日)	
9月6日(金)	第3回日韓学生フォーラム・懇親会	
9月11日(水)	日本語教育実習修了式	
9月12日(木)	帰国の途へ	
9月25日(水)	参加者報告書提出	
11月25日(月)	実習報告会実施	

3. 見学日程

月日	曜	授業	ミーティング・模擬授業
9/5	木	富永・縄野・黒田・大久保・小原	
9/9	月	杉本・松本	松本
9/10	火	富永・縄野・黒田・大久保・小原	富永・黒田
9/11	水	杉本・松本	

4. 参加者

氏名	所属・学年	韓国語 クラス	日本語 クラス	実習指導 担当教員
富永まゆ	言語文化学科(日文)2年	3	B1-2	二色博樹
大久保里南	人間生活学科(生社)2年	2	B1-1	二色博樹
縄野早穂	人間生活学科(生社)2年	1	A2	三國喜保子
小原真奈	人間生活学科(生社)2年	2	A2	諏訪昭宏
松本紗知	人間社会科学科(教育科学)3年	3	B1-1	澤井亮介
黒田琴音	言語文化学科(仏文)3年	7	B1-1	松浦恵子
杉本優花	言語文化学科(グロ文)4年	2	B1-1	澤井亮介

注) 韓国語研修クラスはレベル1(初級)～8(上級)に分かれ実施されている。

5. 日本語教壇実習日程

氏名	月	火	水	木	金
富永まゆ		13:00-15:00		12:00-14:00	
大久保里南		16:00-18:00		15:00-17:00	
縄野早穂		13:00-15:00		12:00-14:00	
小原真奈		16:00-18:00		16:00-18:00	
松本紗知	13:00-15:00		15:00-17:00		
黒田琴音		10:00-12:00		14:00-16:00	
杉本優花	10:00-12:00		12:00-14:00		

注) 担当以外の授業見学、及び指導教員との事前・事後打ち合わせや模擬授業を除く

6. スタッフ

大 学	名 前	所 属	役 職
お茶の水女子大学	森山 新	グローバル文化学環	教員
お茶の水女子大学	山田美奈	大学院人間文化創成科学研究科	院生
お茶の水女子大学	王 艶	大学院人間文化創成科学研究科	院生
釜山外国語大学校	松浦恵子	日本語創意融合学部	教員
釜山外国語大学校	諏訪昭宏	日本語創意融合学部	教員
釜山外国語大学校	三國喜保子	日本語創意融合学部	教員
釜山外国語大学校	二色博樹	日本語創意融合学部	教員
釜山外国語大学校	澤井亮佑	日本語創意融合学部	教員